

広報

2024

まづき

12

No.727



松崎地区秋祭り（道部神社）

11月2日と3日に、町内各地で秋祭りが行われました。
道部神社では、三番叟が奉納され、その優雅な舞に、会場にいた多くの方々からは大きな拍手が送られました。

松崎町功労者表彰

11月21日、環境改善センター文化ホールで、松崎町功労者表彰式を行いました。

この表彰は、松崎町表彰条例に基づき、町の政治や福祉など、各分野において、町の発展に寄与された方の功績をたたえるものです。



▲松崎町功労者表彰式にて

功労表彰

やまだ そうたろう
山田 宗太郎 さん(櫻田)

(元消防団団長)

多年にわたり、松崎町消防団団長などとして、防災活動の指揮などに献身し、町民の安全確保、民生の安定に貢献。



▲表彰状の授与

【問合せ】

企画観光課 (42) 3964

100歳のお祝い

山本 攝さん(明伏)

(大正13年10月9日生)

10月9日、深澤町長は山本さんが利用されている施設を訪問し、100歳の誕生日をお祝いしました。

深澤町長からお祝いの言葉を受けた山本さんは「本当にうれしい」と笑顔で応え、一緒に記念写真を撮りました。

長生きの秘訣は、頑張る気持ちを忘れずにきたことだそうです。



▲100歳を迎えた山本さん

鈴木 きわ子さん(中村)

(大正13年10月28日生)

10月29日、深澤町長は鈴木さんが利用されている施設を訪問し、100歳の誕生日をお祝いしました。

深澤町長からお祝いの言葉を受けた鈴木さんは「ありがとうございます」と笑顔で応え、一緒に記念写真を撮りました。

長生きの秘訣は、早起きとよく食べることだそうです。



▲100歳を迎えた鈴木さん

【問合せ】

健康福祉課 (42) 3966

松崎町花の会

静岡県知事表彰を受賞

松崎町花の会（会長・平野清子さん）が、令和6年度静岡県知事表彰を受賞しました。

この賞は、静岡県内で地方自治や教育・文化スポーツ、社会福祉などの各分野において、社会・公共の発展のために大きく貢献した個人または団体に贈られます。今年は、42人、8団体が受賞しました。

松崎町花の会は、昭和63年に発足し、発足当初は、商店街のフラワーポットへの植栽を中心に活動をしていましたが、その後、沿道沿いの大規模花壇の植栽・管理も行うなど、町の花いっぱい運動の推進のため活動を続けてきました。

平成17年からは現在も続けている「松崎まちかど花飾り」を始め、秋の時期に



▲松崎まちかど花飾りの寄せ植え作業の様子

中宿通りを中心に、和風の寄せ植えを制作して、歴史情緒あふれる景観づくりを演出しています。

また、毎月5のつく日に花壇整備を継続しており、町の主要道路の県道15号線沿いにある建久寺花壇と花の三聖苑花壇の2カ所の花壇の植栽・管理を行い、色鮮やかな花によって通行する人たちの目を楽しませてくれています。

このような長年の活動によって、今回「環境保全」の分野で、緑化活動による地域の環境づくりに寄与した功績が認められ、受賞となりました。

11月3日、静岡県庁で行われた表彰式に出席し、鈴木康友静岡県知事から表彰状を授与されました。



▲表彰式に参加した山本さん（左）と平野さん（右）

【問合せ】
企画観光課（42）3964

『税を考える週間』 税に関する作品 審査結果

毎年11月11日から17日までの1週間は「税を考える週間」です。

伊豆下田納税貯蓄組合連合会では、この週間に合わせ、今年も小学生・中学生を対象に「税に関する作品（ポスター、習字、作文）」を募集しました。

今年は賀茂地区の小学校・中学校から習字の部に186点、ポスターの部に49点、作文の部に306点の応募がありました。

松崎町では、松崎小学校から習字の部に2点、松崎中学校から作文の部に34点の応募があり、審査の結果、習字の部において以下の作品が入賞しました。

【問合せ】
窓口税務課（42）3968

入賞作品

習字

松崎町長賞

藤井 結理さん（松小6年）

松崎小六年 藤井結理

松崎町教育長賞

松本 実夕さん（松小6年）

松崎小六年 松本実夕

松崎中学校生徒会・美化委員会 フラワー・ブラボー・コンクール 農林水産大臣賞受賞

松崎中学校生徒会・美化委員会で取り組んできた、フラワー・ブラボー・コンクール（主催：フラワー・ブラボー・コンクール実行委員会）に出品した花壇が、県の審査会において大臣賞に推薦され、その結果、農林水産大臣賞を受賞しました。

このコンクールは、名古屋市・静岡県・長野県・滋賀県といった中部7県1市の小中学校・特別支援学校など、約500校が参加する大規模なコンクールです。松崎中学校に保存されている記録によると、本校は平成22年度からこのコンクールに参加し、平成26年度に優良賞、平成27年度に「花と私の作文コンクール」の部で静岡県知事賞、平成28年度にえびせんべいの里賞、平成29年度に県教育委員会賞、平成30年度に日本植物園賞、平成31年度に中日新聞社賞、令和4年度に奨励賞、令和5年度に日本植物園賞を受賞してきました。今回、トップ5に該当する大臣賞をいただくことができたのは、これまでの生徒や教職員の地道な努力の積み重ねがあったからこそであると思います。

本年度4月から花壇づくりの中心として頑張ってきた美化委員会前期委員長の山本実々さんに、受賞の喜びを語ってもらいました。



▲前期美化委員長
山本 実々さん

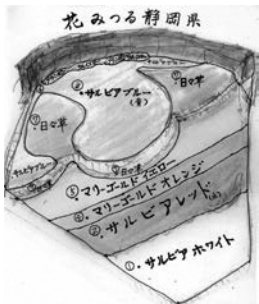
の水やりなどは先生方にも協力していただいたりして、学校ぐるみで花壇を見守り、育ててきました。このようなくさんの方々の協力と努力のかいがあつて、今年は特別賞である『農林水産大臣賞』を受賞することができました。とてもうれしく思います。

前期美化委員長

山本 実々



▲松崎中学校美化委員会と有志の生徒



▲花壇のデザイン（富士山・駿河湾をイメージ）

私たちは、今年のフラワー・ブラボー・コンクールに向けて、委員会メンバー全員で協力し、花壇づくりに取り組んできました。4月の花の種まきからスタートし、苗を育て、花壇の土づくりなどを行いました。花壇に苗を植えてからは、交代で水やりや施肥、草取りなどを続け、大切に花を育ててきました。時には有志の皆さんが手伝ってくれたり、学校が休みの日



▲デザインに沿って苗を植え付けている様子



▲11月20日表彰式の様子（静岡県庁）



▲花壇を見に来ている地域の方々

学校や地域の環境美化、豊かな情操を育むといったフラワー・ブラボー・コンクルールの狙いに賛同し、10年以上の歳月を積み重ねてきた本校の花壇づくりに関わる教育活動は、学校が誇る伝統となっています。今後も、これまでの経験を潤いに満ちた学校づくりにかし、また来年もこのコンクールに参加したいと考えています。

教諭 平野 明彦

【問合せ】

松崎中学校（42）0143

松崎高校広報～西豆と共に～

生徒会長選挙



10月16日、本年度から新たに制定された生徒会規約に基づき、生徒会長選挙が行われました。今回の選挙では、2年生の鈴木綜眞さんが「学校生活をより良いものにしたい。挨拶のできる学校づくり、学校行事の充実に力を入れ、皆さんの声を大切にしながら共に考え、つくり上げていきたい」と抱負を語り、信任されました。11月からの1年間、生徒会執行部を中心に、生徒主体の学校づくりに取り組むことが期待されます。

林業体験（1年生）



10月17日、西豆学の一環として、地域産業と身近な生活への関連を考えるとともに就業感を養うことを目的に「林業体験」を行いました。参加した1年生からは「木の匂いだったり、チェーンソーの音が聞こえて実感があつた」「若い人たちが多かったことに驚いた。実際に仕事を見ると、チームワークや安全管理が大切なことがわかった」「言葉では理解できない現場の雰囲気を知ることができた」「予想よりも楽しかった」のような感想が聞かれました。

体育祭



10月25日、松崎高校と伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校が合同で体育祭を行いました。一昨年から生徒主体の行事となり、今年が第3回目となります。生徒会執行部と健康委員会が中心となって生徒企画でイベントを作り上げ、赤・青の2軍に分かれ、応援合戦や借り物競争、騎馬戦、リレーなどで熱く競い合いました。任期を終える生徒会長の白川紳さんは「1、2回目のお祭り感を引き継いで盛り上げた。一体感を持って楽しい体育祭になった」と話していました。

高大連携探究学習（2年生）



11月1日、西豆学において、2年生の個人探究を支援するため、静岡県立大学大久保あかねゼミの大学生が来校しました。大学生と高校生は面談を通じて協働し、課題の設定から解決に向けた情報分析やアイデア創出に取り組みました。生徒からは、「最初に考えていた内容から視野が広がりすぎていたことに気づき、優先すべきポイントを明確にできた」「他の地域の事例をもっと参考にして提案を作りたい」といった振り返りの声が聞かれました。

【問合せ】 松崎高校（42）0131

令和6年度 一般会計 上期執行状況

歳入

令和6年度の4月1日から9月30日までの一般会計の執行状況をお知らせします。

歳出

48億4,047万3千円 上段：予算額
22億99万3千円 下段：収入済額（）：収入率（45.5%）

48億4,047万3千円 上段：予算額
17億9,133万4千円 下段：支出済額（）：執行率（37.0%）

地方交付税	18億3,022万1千円 13億2,828万4千円（72.6%）	民生費	10億161万7千円 4億6,418万6千円（46.3%）
町税	5億5,838万9千円 3億1,595万4千円（56.6%）	総務費	8億7,084万7千円 3億943万9千円（35.5%）
町債	4億3,276万1千円 0円（0%）	教育費	6億5,466万1千円 2億4,939万6千円（38.1%）
国庫支出金	4億2,498万6千円 9,095万4千円（21.4%）	衛生費	5億6,704万円 1億8,557万2千円（32.7%）
県支出金	2億4,956万1千円 1,452万9千円（5.8%）	土木費	3億7,255万8千円 3,986万6千円（10.7%）
諸収入	1億4,116万円 3,649万1千円（25.9%）	公債費	3億2,144万3千円 1億5,994万8千円（49.8%）
地方消費税 交付金	1億3,000万円 8,367万2千円（64.4%）	農林水産業費	3億538万9千円 8,113万円（26.6%）
繰越金	1億円 1億4,991万1千円（149.9%）	消防費	2億8,568万8千円 1億2,191万2千円（42.7%）
使用料及び 手数料	4,701万5千円 1,618万8千円（34.4%）	商工費	2億4,612万4千円 9,575万3千円（38.9%）
繰越明許費	1億4,375万5千円 9,070万6千円（63.1%）	繰越明許費	1億4,375万5千円 5,955万4千円（41.4%）
その他	7億8,262万5千円 1億6,501万円（21.1%）	その他	7,135万1千円 2,457万8千円（34.4%）

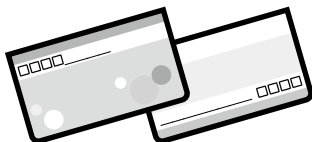
町民1人当たりでは

令和6年9月30日までに
納めていただいた税金（町税） 約5万5千円

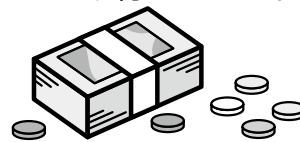
令和6年9月30日までに
使ったお金 約31万5千円

9月30日現在の基金（町の貯金）と町債（町の借金）の状況

- 町の貯金（財政調整基金など14基金）
20億3,666万3千円
町民1人当たり約35万円



- 町の借金
22億7,658万4千円
町民1人当たり約40万1千円



※1人当たりの値は、9月30日現在の人口 5,676人で計算しています。

【問合せ】総務課（42）3963

振興公社管理施設上半期実績

令和6年度上半期振興公社管理施設の実績について、前年度より減少した施設と、道の駅花の三聖苑伊豆松崎のようにイベントを開催し、大きく利用が伸びた施設があり、全体で平均すると昨年より利用が増えました。

伊豆まつぎ荘については、宿泊利用者は前年に比べ824人減、日帰り入浴や休憩利用（会食など）は前年に比べ246人増となりました。法事などの休憩利用は増加していますが、繁忙期の8月のお盆に台風によるキャンセルや、南海トラフ地震臨時情報の発表によるキャンセルが発生したこと、宿泊利用者が減少し、施設全体としての利用者数は伸び悩んでいる状況です。

建設から約20年が経過し、施設の修繕が必要となってきましたが、資金難か

ら修繕が進んでいません。伊豆まつぎ荘の運営を続けていくためにも、宿泊利用者の満足度を向上させ、利用者数の増加につながるようにするためにも、コン

サルタント業者から指導を受けながら改善を行っていると

【問合せ】

企画観光課（42）3964

令和6年度 上半期 施設利用状況

施設名		本年度 (人)	前年度 (人)	比較 (人)	割合 (%)
伊豆まつぎ荘	宿泊	9,284	10,108	△ 824	91.8%
	入浴	2,881	2,878	3	100.1%
	休憩	1,051	808	243	130.1%
	小計	13,216	13,794	△ 578	95.8%
伊豆の長八美術館	入館	5,849	5,806	43	100.7%
重文岩科学校	入館	3,938	4,230	△ 292	93.1%
道の駅花の三聖苑	利用	9,038	6,245	2,793	144.7%
旧依田邸	入館	2,220	2,383	△ 163	93.2%
大沢温泉依田之庄	入館	11,217	10,617	600	105.7%

姉妹都市通信

富士宮市から

意外な共通点

松崎町と富士宮市は、令和4年11月19日にイワナガヒメとコノハナサクヤヒメが姉妹であることをはじめとした富士山の持つさまざまな縁により、「ヒメの里交流都市」として歩み始めました。

今回は、松崎町と富士宮市の意外な共通点についてご紹介します。

一つ目の共通点は、松崎町が開拓姉妹都市提携を結んでいる北海道帯広市との関わりです。実は、富士宮市も北海道帯広市と深い関わりを持っています。それは、豊富な農畜産物を有する帯広市と富士山の恵みに育まれた富士宮市は、食の集積地という意味を込めた「フー

して友好を深めています。

二つ目は、「花」に関する共通点です。松崎町は「花とロマンの里」をキャッチフレーズにまちづくりを進めています

が、富士宮市も「美しい花いっぱい」のまちづくりを推進し、住む人や訪れる方々に潤いと安らぎを与えるようなまちづくりを進めています。

春には、国の特別記念物にも指定されている狩宿の下馬桜、秋には内房のさる菊など多くの名所があります。ぜひ富士宮市を訪れた際には、地域の方々が丹精込めて育てた沿道に咲く花壇も見ていただけたら幸いです。

意外な共通点がありました。松崎町の皆さまも、富士宮市にお越しの際は、ぜひ共通点を見つけてみてください。

けんこう まっざき健康レシピ No.52

キノコと長ネギの中華スープ



－ここがポイント－

たっぷりキノコを使用した温かいスープです。
エノキダケやマイタケなどお好みのキノコをたっぷり入れてみてください。

(1食当たり)

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
35kcal	2.2g	1.4g	6.9g	0.9g

－材料(4人前)－

長ネギ・・・150 g (約 1 本)
干しシイタケ・・・・・・・・・・2 個
シメジ・・・1/2 袋 (約 100 g)
乾燥ワカメ・・・・・・・・・・4 g
ごま油・・・・・・・・・・小 1
ラー油・・・・・・・・少々 (お好みで)
【A】
水・・・・・・・・・・600 c c
中華だし・・・・・・・・大 1.1/3
しょうゆ・・・・・・・・小 1

－作り方－

- ①シイタケは水で戻し、石突をとる。ワカメは水で戻して、水気をきる。
- ②長ネギ、シイタケは、斜め薄切りし、シメジは石突をとって、ほぐしておく。
- ③鍋にごま油を熱し、長ネギをしんなりするまで炒め、キノコをさっと炒めた後、Aとワカメを入れて煮立てる。(お好みでラー油を入れる)

【問合せ】 健康福祉課 (42) 3966

町長コラム 第36回

野球人として

松崎町長 深澤 準弥

大げさなタイトルですが、小学校4年生で野球を始め、高校の部活動でも野球を選びました。当時は、松崎から下田へ通うだけでも大変なのに、一番遅くまで活動している野球部に入るのは家族も心配していました。しかし、松崎町の先輩や後輩など、下田北高校へ通う多くの仲間が周りにいたことで、部活動を続けることができました。

います。

世界を見渡すと、今シーズンのMLBにおけるワールドシリーズでは、大谷選手、山本選手の活躍もあり、ドジャースが世界一の栄冠に輝きました。世界最高峰のアメリカ大リーグで日本人が活躍していることは、同じ日本人として誇りとなり、元気をもらえます。

また、日本では、リーグ3位のDeNAが下克上を果たし、日本一の栄冠を勝ち取りました。プレーオフの是非は以前から言われていることですが、下位から諦めずに這い上がる姿は、見習いたいものです。

大人になつてからも地元の子どもたちにそのありがたさを伝えたいと思います、指導者として取り組んできました。今では後輩たちがその指導者となり、小さな町のチームながら好成績を残してくれて

My Town Topics ～まちのできごと～

フェスタ長八2024



10月20日、町内で、左官の神様といわれる松崎町出身の名工「伊豆の長八」の顕彰イベントとして、「フェスタ長八2024」が開催されました。

イベントでは、長八美術館前で牛原太鼓などのパフォーマンスが行われたほか、長八追悼法要や長八オリジナル缶バッジ制作体験といった体験イベント、露店が多く並んだ「うまいもん市」などが開催され、多くの人でにぎわいました。

松崎まち灯り

10月19日から27日まで、町内で、伊那下神社や伊豆文邸、ふれあいとーふや。などをライトアップする松崎まち灯りが開催されました。

伊那下神社やふれあいとーふや。では、和傘にオレンジ色の暖かい光をあて、幻想的な風景が演出されたほか、浄泉寺では、小さな穴を開けた竹に光をともし竹灯りが飾られ、昼間の風景とは異なる景色が広がりました。



第44回松崎町文化協会芸術祭



11月8日から11日まで、環境改善センター文化ホールで、第44回松崎町文化協会芸術祭が開催されました。

会場には、彫刻・書道のほか、町内4カ所の介護施設利用者や伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校の生徒による作品など計310点が展示され、会場を訪れた方々は、それぞれの作品を前に足を止め、芸術作品を堪能していました。

松崎三聖まつり 秋の青空露天市

11月10日、花の三聖苑で「松崎三聖まつり 秋の青空露天市」が行われました。

イベントでは、開拓姉妹都市である帯広物産展が開催されたほか、地場産品など数多くの露店が出店されました。

また、町内有志の方々と構成された牛原太鼓やダンスなどのステージパフォーマンスが行われ、会場は多くの人でにぎわいました。



町の人口と世帯

(令和6年10月31日現在)

() 内は前月比

総人口	5,674人	(-2人)
男	2,673人	(-1人)
女	3,001人	(-1人)
世帯数	2,834戸	(-1戸)
転入	10人	転出 4人
出生	0人	死亡 8人

戸籍だより

お悔み申し上げます(死亡)

地区氏名	年齢	届出人
江奈3 井山 正明	85	黒田 仁実
江奈2 濱詰みち江	89	梅原 千恵
櫻田 平野 敬子	89	平野 豊彦
西区 端山千枝子	97	端山 暁子
東区 土屋かづみ	88	土屋 利幸
石部 高橋はるみ	83	高橋 哲也
伏倉 近藤フエ子	87	近藤 郁雄

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。



町の交通事故

令和6年10月発生分

() 内は前年同月比

人身事故	0件	(±0)
物損事故	13件	(-3)
死者	0人	(±0)
傷者	0人	(±0)



石田 凌都さん
(宮内)



伊東 想さん
(櫻田)



飯田 蛍さん
(江奈1)



土屋 海音さん
(松尾)



齋藤 凪さん
(那賀)

【問合せ】
健康福祉課 (42) 3966

ピカピカキッズ

3歳児健診で「虫歯」がなかったお子さんを紹介します。



松崎文芸

— 短歌 —

撫子の苗植ゑ終へて秋ごち気温三十一度

今宵十五夜

石田 安江

朝日さす浅瀬に一羽白鷺の聖のごとく

清しく立てり

平野 桂子

祈りたくなるほど細き宵の月遠き日の祖父の

浮かびてきたり

堀岡 洋子

野菜にも育ちゆく力与へねば施肥をしてやる

声をかけつつ

山本智恵子